

平成27年度第6回経営戦略会議 会議結果の概要

開催日時	平成27年10月19日（月）午後3時30分～午後5時40分
開催場所	本庁 東庁舎4-2会議室
出席者	市長、副市長、総務部長、危機管理部長、情報戦略局長、環境生活部長、健康福祉部長、産業観光部長、都市整備部長、教育部長、上下水道部長、病院経営推進部長
審議事項	
1	流域関連伊勢市公共下水道全体計画の見直しについて <上下水道部>

1 流域関連伊勢市公共下水道全体計画の見直しについて<上下水道部>

概要

現在の「三重県生活排水処理整備計画」は今年度が最終目標年度であるため、本市においても今年度中に「伊勢市生活排水処理整備計画」を見直す必要がある。

生活排水処理整備計画の見直しについては、下水道区域と合併浄化槽区域の区域割を見直す必要があることから、下水道全体計画の見直しを行うものである。以上のことから下水道全体計画の見直しについて審議を行った。

主な内容は以下のとおりである。

(1) 見直し方針

国公表の「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」に準拠したうえで、下水道区域と合併処理浄化槽区域との経済比較を基本とする。

併せて、平成37年度を中期目標、平成47年度を長期目標とし、整備目標を作成する。

(2) 見直し検討対象区域

現在の下水道全体計画3,558haのうち、既事業計画区域2,043haを除く

1,515haを対象に見直しを行うが、用途地域内で供用区域に囲まれた農地等は現時点では引き続き土地利用の動向を見守ることとする。また、供用済みの流域幹線沿線の区域についても同様とし、今回の検討対象区域から除くものとする。

(3) 見直しの考え方

① 検討単位の設定

家屋と家屋との距離や家屋連担状況を考慮し検討区域の単位を設定

② 経済比較

各検討区域を近接する下水道区域と一体にして経済比較を行う。

③ 下水道区域の判定

合併浄化槽区域の1年間に要する経費が下水道区域の1年間に要する経費を上回る場合は下水道区域とする。

④検討対象区域の評価

下水道全体計画の見直し後の区域を評価する。

⑤中長期整備区域の判定

評価の高い区域を順番に抽出し、中長期に整備を行う目標区域を選定。

結論

提案どおりの内容で進めることと決定した。

主な意見・補足等

- ・従来の計画で合併処理浄化槽が有利と判断した区域においても、社会状況の変化により下水道区域に追加することもあり得るのか。
→可能性としてはあるものの、前回の計画策定時に下水道区域から除外した区域において、特段の状況変化があったとは捉えていない。
- ・時期の改定はいつになるのか。
→5年後となる。

資料

付議事項書